



Corporate Profile



日本粉末薬品株式会社
NIPPON FUNMATSU YAKUHIN CO.,LTD.

サンプル無償提供サービス

日本粉末薬品が保有する1000種もの素材は、弊社Webサイトの専用フォームからサンプルの申込みが可能です。加工品質・味・ニオイ・色など、お気軽にお試しください。また、加工やブレンド方法などの技術的なご相談も承ります。豊富な素材ラインアップと技術ノウハウを、御社の製品開発にお役立てください。



日本粉末薬品 サンプル

検索

日本粉末薬品株式会社 <https://www.nfy.co.jp/>

本社 〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町2-5-11
TEL:(06)6201-3801(代) FAX:(06)6222-4031

東京営業所 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-1 大一東京ビル5階
TEL:(03)5294-2151(代) FAX:(03)5294-2150

伊賀工場 〒519-1426 三重県伊賀市西之澤1384-9
TEL:(0595)45-3625(代) FAX:(0595)45-3626

創造価値開発センター 〒519-1426 三重県伊賀市西之澤1384-9 伊賀工場内
TEL:(0595)45-3621(センター直通) FAX:(0595)45-3626

八尾工場 〒581-0813 大阪府八尾市泉町3-71
TEL:(072)996-5672(代) FAX:(072)922-8693

枚岡工場 〒579-8025 大阪府東大阪市宝町13-36
TEL:(072)987-5371(代) FAX:(072)981-7114

加納工場 〒578-0901 大阪府東大阪市加納4-13-28

水走工場 〒578-0921 大阪府東大阪市水走1-12-29
TEL:(072)966-8099(代) FAX:(072)966-8401

富田林研究所 〒584-0023 大阪府富田林市若松町東3-3-57

動画で知る日本粉末薬品
日本粉末薬品株式会社 YouTube

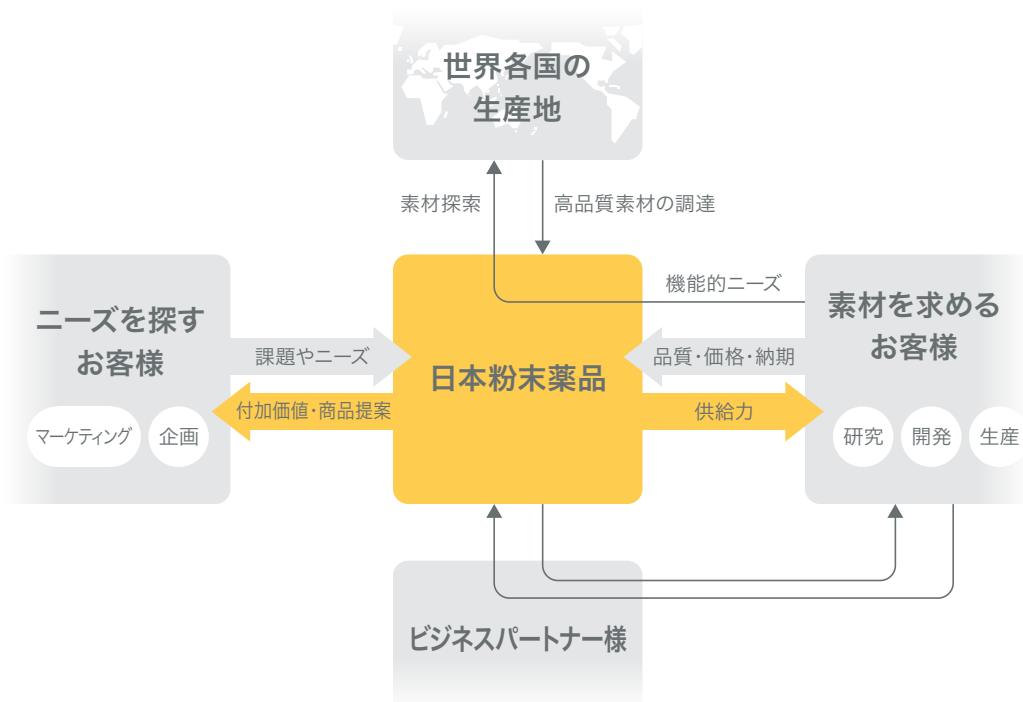


健康をつくる

機能性天然素材のパイオニアとして専門性を活かし健康産業をサポートしていきます。



日本粉末薬品は、世界各国より機能性天然素材を輸入し、国内自社工場で加工したものを医薬品・化粧品・食品メーカー等約1500社に供給する機能性天然素材の専門メーカーです。



機能性天然素材のパイオニアとして、 医薬品および健康食品の開発をサポートします。

世界各国から輸入した天産物原料を、厳しく品質管理した上でお客様へ安定供給し、消費者の方々に健康で快適な生活を送っていただく。未病で国民の健康を守る。それが、私たち日本粉末薬品の最大の使命と考えております。

高齢社会の到来や健康志向の高まりで漢方薬や生薬、健康食品が注目される中、天産物原料は健康産業の潮流となり人々の生活に浸透してまいりました。さらに近年は、消費者の自然志向や本物志向ニーズに応えるため、食品原料においては味付け、風味づけといった用途にまで幅は広がっております。こうした流れを受け、私たちの果たすべき役割もますます大きくなってまいりました。

そこで私たちは、お客様様の個別のご要望にきめ細かく対応するため、得意分野の異なる生産拠点を5カ所に構え、研究施設も2ヶ所有することで、医薬品から健康食品、食品や飲料まで幅広くカバーできる体制を整えてまいりました。また、医薬品分野で培った技術と経験を活かし、消費者のニーズに応える新しい食品素材の開発にも力を入れております。国産野菜粉末シリーズや、風味を工夫し商品価値を高めたeエキスはその一例です。

もちろん、健康産業に従事する使命を果たす上では安全管理も欠かせません。人々の口に入るものを扱っているという責任感を全社員が持ち、原料の調達から加工、供給まで社員一人一人が目を配っております。

世の中は常に変化し、消費者のニーズも変わっていきます。そうした変化に応じて扱う素材を研究開発、これまでになかった新たな価値を生み出し続けることもまた、私たちの使命であると考えます。日本粉末薬品は日々チャレンジを続け、お客様や消費者の方々に求められる会社を目指してまいります。



代表取締役 桑野 彰一

経営ビジョン 「社会に健康という自然の贈り物を安心とともにお届けする企業として従業員が自分の仕事や役割に誇りを持って共に働いている仲間との連帯感が持てる会社」を目指す

沿革

- | | | | |
|-------|---|-------|-----------------------|
| 1947年 | 会社設立
同時に八尾工場を新設
病院・薬局用の調剤用生薬粉末を製造 | 2003年 | 富田林研究所を設置 |
| 1954年 | 原料用生薬粉末の製造を開始 | 2005年 | 水走工場を新設 |
| 1958年 | 生薬エキス成分抽出部門を設置 | 2006年 | 有機JAS認証取得(枚岡工場) |
| 1964年 | 貿易部門を設置 | 2010年 | 加納工場を新設 |
| 1977年 | 枚岡工場を新設 | 2012年 | 八尾工場を改修 |
| 1988年 | 伊賀工場を新設
原料の安定供給に対応し得る
生産設備体制を整備 | 2015年 | 有機JAS認証取得(加納工場) |
| 1995年 | 新本社ビル竣工 | 2016年 | FSSC22000取得(加納工場) |
| | | 2017年 | 創造価値開発センター設立 |
| | | 2020年 | 創造価値開発センター棟を設置 |
| | | 2021年 | JFS-B規格に適合(八尾工場、伊賀工場) |
| | | 2023年 | JFS-B規格に適合(加納工場、水走工場) |
| | | 2024年 | FSSC22000取下げ(加納工場) |

素材をつくる

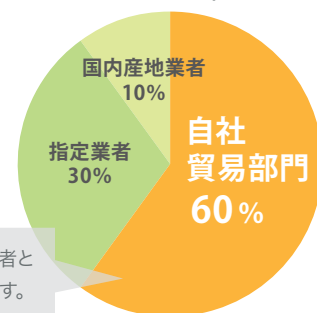
原産地の生育情報把握と素材の特長を活かした
さまざまな生産技術で高品質を追求。

世界の天然素材を安定確保し、
1000種以上の豊富な商品力で応えます。

日本粉末薬品では、世界の生産地との安定した取り引きと
海外情報収集に注力し、品質のよい天然素材の安定供給を実現。
お客様のご要望に合わせてさまざまな原料をご用意します。



商品数 1000種 以上



トレーサビリティの確保

自社社員による、産地調査を積極的に行い、信頼できる原料確保に努めています。

原料管理体制

日本国内に原料を分散保管することで、危機管理体制の強化に努めています。

原料の半数以上は自社貿易部門でダイレクトに輸入し、残りは信頼のできる指定業者と
国内の産地業者から直接仕入れているため、いつでも安定した品質をご提供できます。



安定供給への新たな取り組み

天候に影響されずに安定供給するために
自社植物工場で素材を生育し、供給する実験を始めています。
将来的には、この工場から素材を提供できる日が来るかもしれません。

安心・安全の国内自社工場による加工で
徹底した管理と柔軟な対応力を提供します。

伊賀工場 医薬品GMP JFS-B



抽出装置

スプレードライヤー

大型の抽出装置や、スプレードライヤー（噴霧乾燥装置）を複数
有し、品質の安定したエキスパウダーを多種製造しています。

八尾工場 医薬品GMP JFS-B



ストレージタンク

濃縮装置

低温濃縮装置により、素材の持つ成分をそこなわないように
工夫しています。長年の実績により、飲料に適した沈殿の少ない
ソフトエキス、抽出液を製造しています。

枚岡工場 医薬品GMP 有機JAS



超低温粉碎装置

流動型高圧蒸気殺菌装置

長年培った技術により、国内最高レベルの殺菌技術を誇っています。
また、熱による成分の品質劣化を抑え、素材の色調、風味
を活かしたままの加工を実現しています。

加納工場 JFS-B 有機JAS



高速気流式殺菌装置

衝撃式超微粉碎機

食品の殺菌粉末加工に特化した工場に新型の粉碎器を導入した
ことにより、粉末の生産能力が飛躍的にアップし、より細かな
微粉末製品の大量生産が可能になりました。



価値対応力

納期遵守

品質の良さ

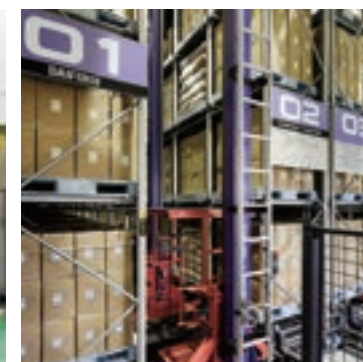
自動物流倉庫の導入でさらにスピーディなデリバリーを実現します。

自動物流倉庫を備え、スピーディなデリバリー体制を完備。「必要なとき、必要なだけ」を実現しています。

水走工場 医薬品GMP JFS-B



自動物流倉庫



自動物流倉庫内部

お客様のご要望に合わせて、さまざまな規格認定品にも対応します。

医薬品GMP適合

生産本部の一元管理のもと、GMP適合の品質マネジメントによって
品質にバラツキがなく、安全な製品を安定供給できる生産体制を確立しています。

JFS-B規格適合

HACCPを含む食品安全マネジメント規格である、JFS-B規格に適合。
HACCPに基づく衛生管理、品質管理により、食品安全管理体制を強化しています。



(伊賀工場)
JFS-B21001309-00
(八尾工場)
JFS-B21001294-00 JFS-B21001295-00
(加納工場) (水走工場)
JFS-B23002722-00

有機JAS認証取得

有機JASマークの貼付には、農林水産大臣の登録を
受けた認証機関による認証が必要です。
有機JAS認証の取得により、原料の産地に
までさかのぼって特定することが可能。
確実なトレーサビリティにより、安心・安全な
食品原料をお届けすることができます。



有機JAS
認証産地

収穫

認証工場

選別・加工

製品化

ニーズをつくる

生薬を知り尽くしたメーカーだからこそできる提案力でお客さま商品の差別化に貢献します。

商品の魅力を高めたい。

課題 飽和した生姜商品市場で差別化を図りたい。

解決 成分クオリティを高める特殊製法のノウハウにより、従来よりも少量で体感の持てる生姜素材開発に成功。

生姜の辛味成分であるジンゲロールは、蒸すことで温め効果の高いショウガオールに変わることは知られていますが、日本粉末薬品ではさらに独自の殺菌技術で成分クオリティを高めた『Wスチームジンジャー』の開発に成功しました。従来よりも少ない配合量で温め効果を体感できるため、剤形の小型化や従来にない味・効能を追加した製品開発が可能になり、お客さま商品の差別化に貢献できました。



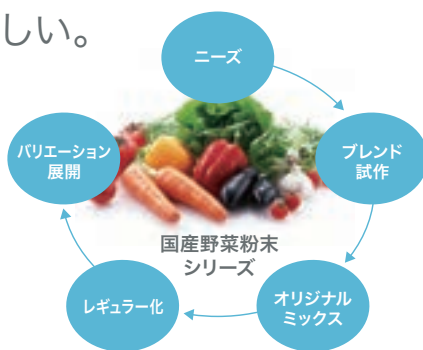
手軽に商品の幅を広げたい。

課題 オリジナルの野菜プレミックスが欲しい。

解決 安定在庫を保有しているからこそ提供できる、「数%単位」でのブレンド試作とレギュラー化。

複数の粉末をブレンドした素材開発は、原料在庫や保管設備の投資等、管理コストが課題となります。日本粉末薬品はお客様に代わり、ニーズに応じたブレンド試作から商品化までを一貫して行います。

「野菜だけのプレミックスが欲しい」とのご要望から生まれた『野菜プレミックス』は、緑黄色野菜のみを集めた10種プレミックスをはじめ、6種、22種のバリエーションで商品展開の幅を広げること成功。さらに、「100%国産野菜純粉末」という強みを活かし、製品の差別化にも貢献できました。



独自ブレンドもご相談ください。

お客様の求める製品コンセプト（ターゲット、含有成分、機能ニーズなど）を基に、機能性天然素材を熟知した専門家が配合調整の試作品製作を行い、納得のいくブレンドに仕上げます。また、ご希望の粒度・用途に合わせた剤形加工など、オーダーメイドでの量産にも対応しております。



バラエティ豊かな原料知識

積極的な素材開発

多品種安定供給力

高度な加工技術

素材の風味を活かしたい。

課題 海外製品の本来の風味を再現したい。

解決 長年の粉末加工の知恵と技術力で、海外品の風味を再現。

日本でも人気の高い海外飲料はスパイスを使用した、独特の香り付けが特徴です。しかし国内のスパイス粉末は、加工時の熱で風味が劣化し、お客様は風味に不満を持っていました。そこで日本粉末薬品の長年培った豊富な加工ノウハウから最適な方法を選定・テストし、風味が落ちない素材開発に成功しました。



加工知識

+

加工機械・技術力

+

安定在庫

商品の風味を高めたい。

課題 香料無添加でも美味しい商品を作りたい。

解決 風味を重視し、抽出法から見直した独自エキスで無添加でも美味しい商品開発をサポート。

無添加商品の開発で、課題となるのがコストと風味のバランスです。果汁にかかるコストを抑えるため抽出エキスで補おうとしても、従来のエキスでは風味が弱く、本物の味わいを再現するのは困難でした。日本粉末薬品では本物をを超える味・香りをコンセプトとした、風味重視の抽出エキス「eエキス」を開発。果汁にプラスして使用することで、香料と同程度の価格で、満足感のある味わいを可能にしました。

e-エキス

コスト抑制

本物をを超える味・香り!

果汁

+

eエキス



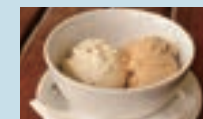
マーケットニーズに応える新素材を開発

2017年に開設した「創造価値開発センター」は、eエキスのようなオリジナルの素材開発に特化した研究所です。マーケットニーズをいち早く掴み、応えることを目的に新素材や新テクスチャーの開発、アプリケーションの設計・試作、マスキング、微細化処理等、幅広く行える設備を整えています。

アプリケーション試作例



飲料(酒類含む)



アイス菓子



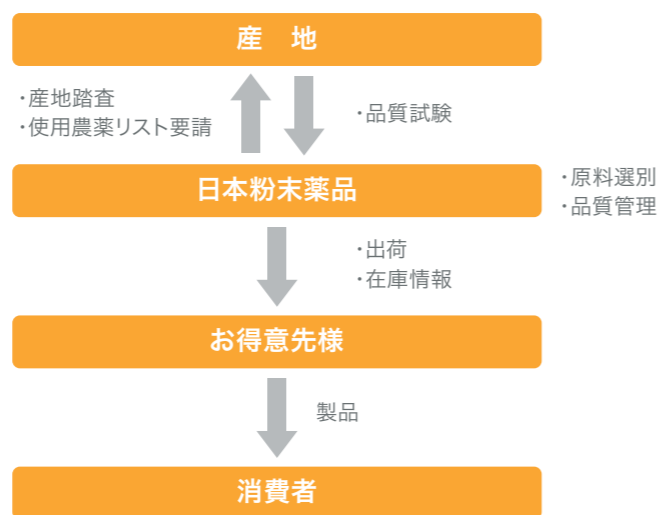
ゼリー

安心・安全をつくる

産地から流通までを一貫して見える化。
お客様の安心・安全基準に柔軟に対応します。

産地のポジティブリスト対応など、トレーサビリティニーズに即応できます。

日本粉末薬品では、天然素材の90%を海外の産地から輸入しているからこそ、ひとつひとつの原料がどのような経緯をたどってきたのか、十分に把握したものをお客様に提供しています。その一例として、契約農場からの購入ルートを確認し、定期的に産地まで足を運ぶことで、生育工程の情報収集を行っております。また、残留農薬試験を実施しているため、情報開示にも対応できます。



産地踏査にも対応します。

産地を定期的に巡回することは、トレーサビリティの信頼性を上げるだけでなく、生産地の気候変動による不作や病気などの発育状況の情報をいち早くキャッチでき、高品質な天然素材の安定供給を実現できています。
ご希望のお客様は同行も可能です。

また、海外現地の市場調査から、日本では馴染みの少ない西洋ハーブなどの情報もいち早くご提供できます。



適正在庫を確保し安定供給を実現。

日本粉末薬品の天然素材は国内・海外の契約農場を通じて定期的に調達し、常に適正在在庫量をストックしています。また、豊富な商品知識を元に常温・冷風に原料を分けることで品質を損なわずに保管できる技術も整っています。これからも、スピーディかつ安定した素材提供でお客様の製品開発・生産を止めません。



原料保管倉庫



高度な分析・研究体制の確立により、安全性の高い製品をお届けします。

各工場では微生物試験などによる衛生管理を徹底し、高い安全性を確保しています。また、富田林研究所では新素材の探求などの研究開発にも取り組み、より付加価値の高い製品の開発を進めています。



微生物試験

重金属・ヒ素試験

残留農薬試験

各種安全性・毒性試験

お客様の希望に合わせた規格値設定を行います。

同じ原料でも、収穫年や産地が異なる在庫を複数ロット有していますので、お客様の求める粉末の有効成分量へのニーズにも細かく対応できます。また、長年の製薬用素材の供給で培った殺菌技術の実績があることから、含有菌数の規格値設定にも細やかに対応が可能です。お気軽にご相談ください。

ニーズに合わせた殺菌処理を可能にする殺菌装置



短時間殺菌可能な高速気流式殺菌装置



刻み専用の殺菌機流動型高圧蒸気殺菌装置

信頼をつくる

理系を中心にしたポジティブな理論派営業マンがお客様ごとにワンストップで対応します。

日本粉末薬品では、お客様とじっくり向き合えるようマンツーマンの営業体制を採用しています。原料調達から加工、納品までの全工程を一貫して担当するだけに留まらず、産地訪問までを活動の軸にした、非常に専門性が高く頼れる営業マンが揃っています。

ある時はお客様のあらゆるご相談にも即対応できる良きパートナーとして、またある時は理系の知識と蓄積したノウハウで積極的に新しいご提案を行えるアイデアマンとして、お客様の製品開発にお役立ちいたします。



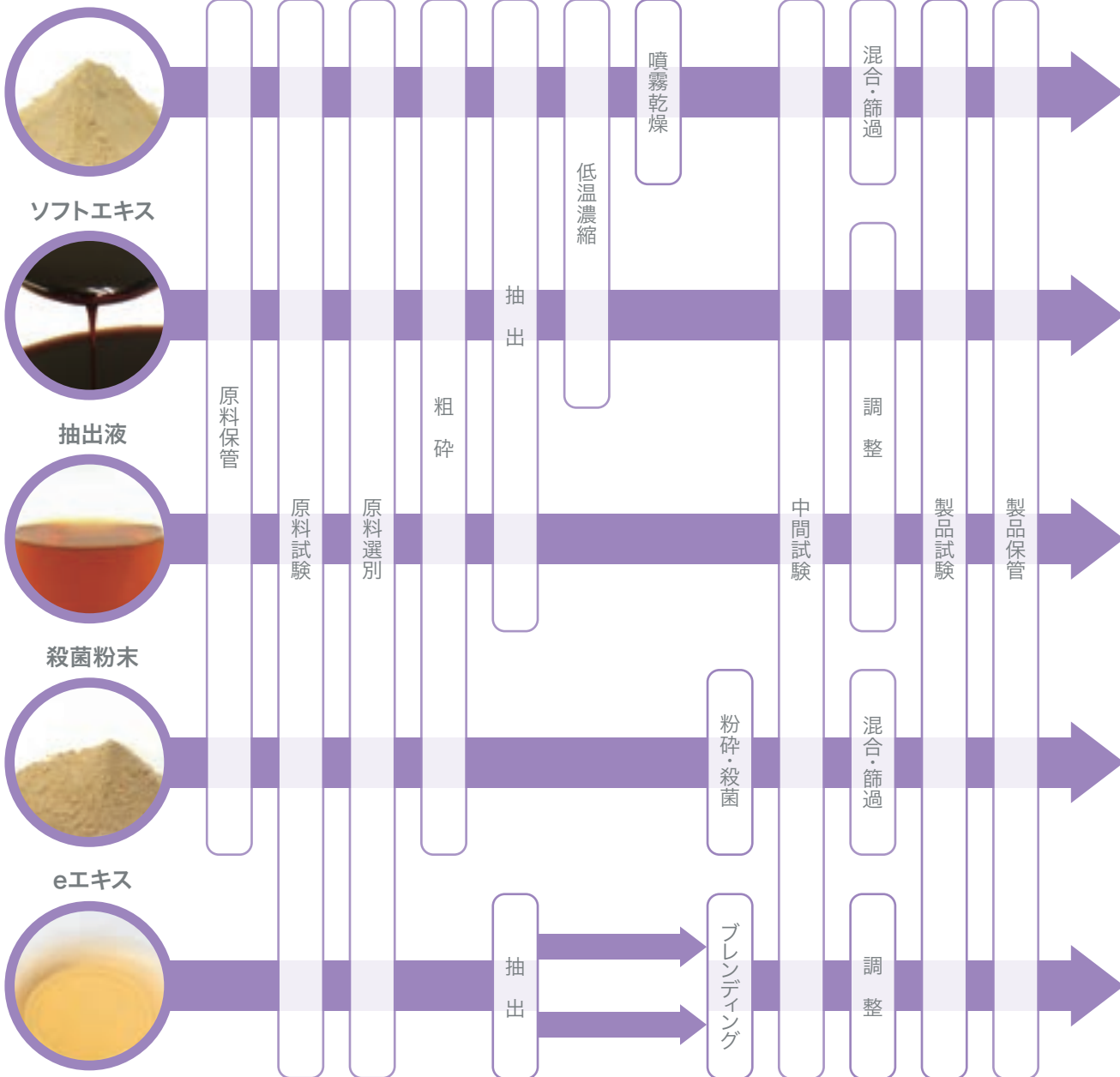
コンサルティング
専門知識
ワンストップ対応力



信頼をつくる

加工はすべて国内自社工場で厳格な管理のもとで実施

エキスパウダー



会社概要

会社名 日本粉末薬品株式会社
 本社所在地 大阪市中央区道修町2丁目5番11号
 創業 1947年
 代表者 代表取締役 桑野 彰一
 資本金 6,000万円
 従業員数 150名
 営業種目 生薬・漢方製剤素材、健康食品素材、化粧品素材の製造販売
 主要取引先 製薬メーカー、食品メーカー、化粧品メーカー
 事業所 大阪、東京
 工場 伊賀工場、八尾工場、枚岡工場、加納工場、水走工場
 研究所 創造価値開発センター、富田林研究所
 取引銀行 みずほ銀行 南船場支店
 三菱UFJ銀行 瓦町支店
 三井住友銀行 阿倍野支店



本社



伊賀工場



創造価値開発センター(伊賀工場内)



八尾工場



枚岡工場



加納工場



水走工場



富田林研究所